

センターレポート

支給しない企業昨冬のほぼ2倍に

支給率1.45カ月 一人あたり平均支給額380,638円

－平成13年度冬季ボーナス支給予定額調査より－

2001.10月調査

内閣府は10月の月例経済報告で先月に続いて「景気は引き続き悪化している」とした。「個人消費にこのところ弱い動きがみられ、家計収入の面でも定期給与、現金給与総額ともに前年を下回っている。生産は大幅に減少し、企業収益も減少している。企業の業況判断は製造業を中心に大幅に悪化しており、一層厳しさが増している。政府は構造改革を強力かつ迅速に遂行するため『改革先行プログラム』をまとめるとともに、平成13年度補正予算を編成する」としている。

一方、当センターの調べによると、県内の景気動向にもみられるように（本誌10ページ以下参照）、業況D I 値が35カ月振りにマイナス60を下回り、一段と厳しさを増している。

こうした中、県内中小企業を対象に「冬季ボーナス支給予定額調査」を実施し、その結果がまとまったので以下に報告したい。

● 冬季ボーナス支給予定額調査

調査時期 平成13年10月
 調査対象 県内中小企業1000社
 有効回答数 254社
 ボーナスを支給する企業 154社（うち支給額未定の企業 29社）
 ボーナスを支給しない企業 100社

● ボーナスの支給状況

今年の冬季ボーナスの支給予定額は、支給するとする企業のうち支給額が未定の企業を除いた125社を対象として、その支給額を加重平均でみた結果は次のようになった。（図表－1）

図表－1 産業別支給状況（総合）

		総 計					
		平均年齢	平均勤続年数	平均基本給	ボーナス支給額	支給率	前年比支給額比
		才	年	円	円	カ月	%
全産業	本年	39.2	12.5	263,274	380,638	1.45	99.6
	前年	-	-	266,341	382,246	1.44	-
製造業	本年	40.9	14	247,462	329,575	1.33	104.8
	前年	-	-	257,947	314,367	1.22	-
建設業	本年	40.7	14.1	300,325	397,544	1.32	88.2
	前年	-	-	307,149	450,526	1.47	-
卸売業	本年	39.3	12.1	247,904	313,274	1.26	100.7
	前年	-	-	242,175	311,181	1.28	-
小売業	本年	36.9	14	243,710	343,877	1.41	102.7
	前年	-	-	240,533	334,831	1.39	-
サービス業 その他	本年	37.7	9.6	282,466	468,067	1.66	97.5
	前年	-	-	280,590	479,996	1.71	-

全産業平均は380,638円。これは、平均基本給の1.45カ月分に相当し、昨年冬の支給率1.44カ月（実績）を0.01カ月分上回るものの、支給額では0.4%のわずかな低下となる。

支給率を業種別にみると、サービス業・その他が1.66カ月で最も高いが、昨年冬に比べ0.05カ月の減少となっている。また、昨年冬に比べ支給率が上昇するのは製造業と小売業の2業種となっている。

一人あたりの支給額を昨年冬と比較すると、全産業平均で99.6%とほぼ昨年並みの予定。業種別に昨年冬の実績と比較すると、製造業、小売業では上回り、卸売業は横ばい、サービス業・その他、建設業では昨年冬を下回る。

なお、ボーナスを支給するとする企業（支給額未定の企業を含む）の業種別、資本金別内訳は図表－2のとおり。

図表－2 ボーナスを支給する企業の業種別内訳 ボーナスを支給する企業の資本金別内訳



アンケート回答企業の資本金	企業数	構成比
個人	3	2.40%
300万円未満	4	3.20%
300万円～500万円未満	3	2.40%
500万円～1000万円未満	9	7.20%
1000万円～5000万円未満	76	60.80%
5000万円以上	30	24.00%
合計	125	100.00%